

私立大学研究ブランディング事業 2018シンポジウムを開催しました

2018年11月23日（金）西九州大学佐賀キャンパスにて私立大学研究ブランディング事業「発達障害児の二次障害予防支援研究～二次障害を予防し関係者の負担軽減を目指すために～」の一環で「**発達障害児の食支援を考える**」2018シンポジウムを開催しました。当日は保育園・幼稚園・小学校・特別支援学校、施設関係者、大学関係者、一般関係者など、総勢160人の方が参加されました（満席）。



福元裕二学長の挨拶



藤井葉子 先生



附属園の実践報告をされる
福元芳子先生

最初に、**福元裕二学長**から本学が目指す地域支援について挨拶があり、続いて本学の**川邊准教授**より事業概要の説明がありました。基調講演では、広島市西部こども療育センター「なぎさ園」の管理栄養士 **藤井葉子先生**より「**発達障害児の食事の問題と支援について**」の講話があり、なぎさ園の、自閉症スペクトラム児の食支援（偏食改善）についての様々な事例をご紹介いただきました。講話では実際になぎさ園で提供されている**口腔感覚対応食**の試食があり、参加者の皆様も食支援の実際を体感されていました。



ディスカッションの様子
(左から福元先生、藤井先生、西岡先生)



試食（口腔感覚対応食）



試食の様子

ディスカッションではコメンテーターとして**藤井葉子先生**、西九州大学附属三光保育園園長の**福元芳子先生**に同席いただき、本学の**西岡准教授**がコーディネーターを務め、食に関する質疑応答がありました。



試食準備をする藤井先生



試食準備の打合せ



試食最終チェック



試食配布スタンバイ



託児受付



受付の様子

参加者の方からは「食事支援事例についてはもっと知りたい」「実際に対応食のクッキングをしてほしい」「会場の様子を見て皆さんの関心の高さが伺え勉強になりました」などの意見が多数寄せられました。今回の講演や議論が発達障害児の食支援にかかわる方々への何らかの参考になれば幸いです。

ご来場の皆様、準備に関わって頂いた藤井先生、スタッフの皆様、ありがとうございました。